

業務時間：8：30～17：30

施設案内

休所日：毎週月曜日
(月曜日が祝日の場合、その翌日)

どんな施設なの？

社会教育の振興に資することを目的に設置された施設です。

何ができるの？

自然体験活動 団体宿泊訓練 スポーツ
各種研修 ワークショップ 野外プログラム

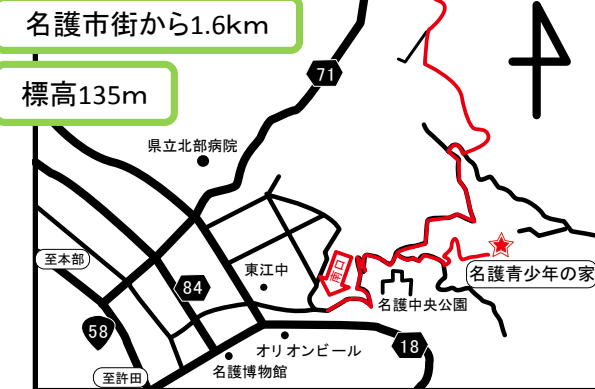
設備は？

キャンプ場 運動広場 天体観測デッキ
ハイキング・登山コース 浴室 食堂
研修室 宿泊室 体育館 講堂

誰でも利用できるの？

2名以上の団体なら、家族でもサークルでも、企業や職場の仲間でも誰でも利用可能です。

どこにあるの？



ご予約からご利用までの流れ

1. 利用希望日が決まったら、お電話ください。
「空き状況」を確認します(仮予約)。
2. 利用予定日の1ヶ月前までに、申請書※をご送付ください(本予約)。

3. 利用予定日の2週間前までに、スタッフと打ち合わせや施設の下見を行います。
4. ご利用日当日は、スタッフが適宜研修をサポートいたします。
※申請書は当施設HPよりダウンロードしてください。

◆ 宿泊・施設利用料金

種類	宿泊室	キャンプ場 (テント泊)	野外炊飯 (薪代)	研修・訓練室 ※団体あたり	体育館・講堂 ※団体あたり
児童・生徒	300円/人	150円/人	50円/人	150円/時間	350円/時間
学生・一般	600円/人	250円/人	50円/人	350円/時間	700円/時間

※学校等の教育課程に基づく教育活動で利用する場合、予め免除申請書を提出いただければ、高校生以下の児童・生徒の利用料金が免除されます(但し、食事代とシーツ代、薪代は別途必要となります)。

発行 2013年(平成25年) 11月9日(土)



沖縄県立
名護青少年の家
Okinawa Prefecture Nago Youth Center

名護市名護5511

TEL:0980-52-2076 FAX:0980-52-3082
http://www.opnyc.jp/

指定管理者

一般財団法人
沖縄美ら島財団
Okinawa Churashima Foundation



ブログ
も見てね!
QRコード



http://www.opnyc.jp/
スタッフブログ/

名護青少年の家

かわら版 11月号

宿泊室からのサンセット
名護湾

マスコットキャラクター愛称決定！

先日、名護青少年の家のマスコットキャラクターについて愛称を募集したところ、沖縄県内だけでなく全国各地から45件ものご応募をいただきました。同一名も見られたので、43個の愛称候補から職員で厳正に選考した結果、小寺光雄さん(愛知県)が応募して下さいました「なごみん」に決定しました。「なごみん」には、名前の由来通りみんなを和ませる存在として、またカメだけに末永く活躍してほしいですね。

名前：なごみん

理由：名護青少年の家に来る皆を和ませるカメです。

命名者：小寺光雄さん(67・愛知県)

なごみん



僕の名前が決まりました。
たくさんの応募ありがとう！
これからもよろしくね！！

名護岳に咲く花々

リュウキュウサギソウ(琉球鷺草)
ラン科 ミズトンボ属

学名：〈*Habenaria longitentaculata*〉

Vol. 7



名護岳にて(10月9日撮影)

草丈30～60cmの常緑の多年草。根はやや塊根状になります。茎は直立し、葉は茎の中ほどに4～7枚つき、倒卵状長楕円形になります。花茎の上部に淡緑色の多数の花をつけます。花弁は糸状に伸び、長さ2～3cm、開花時期は9～10月頃です。

山地の自然林の陰湿な林床に地生します。

宝島、奄美大島、徳之島、沖永良部島、沖縄島、西表島、台湾に分布します。

環境庁版RDB(絶滅危惧IB類)、沖縄県版RDB(絶滅危惧II類)に指定されています。

別名ナメラサギソウ、イトヒキサギソウとも呼ばれています。

専門職員 宮城 徹



事業報告

主催事業

オープナー 名護岳登山・ハイキング ～自然観察をしながら森林浴をたのしもう～

県立名護青少年の家の主催事業「オープナー名護岳登山・ハイキング」を10月19日に開催しました。県内から約70人の皆さんが参加、名護岳の自然観察を楽しんだり環境保全の大切さを学んだりしました。

この日は雨が降る中のアクティビティとなってしまいましたが、名護岳の頂上を目指す登山コースには、午前の部と午後の部合わせて約50人が参加。山道を歩くときの注意点やアドバイスを当所専門職員から受け、急こう配などの険しい箇所では参加者同士で声を掛け合うなど、無事に山頂まで到着しました。



出発前にストレッチをする参加者



生き物を観察する参加者

雨のため山頂では名護の市街地や東海岸をはっきりと見渡すことはできませんでしたが、参加者の皆さんは、道中でやんばるの固有種である動植物に興味深く観察するなど、互いに会話を弾ませていました。またハイキングには、午前の部と午後の部合わせて20人が参加、専門職員とともに約2時間かけてじっくりと散策を楽しんでいました。

親子でハイキングに参加した南風原町の手登根淳子さんは「時間も内容もちょうど良かったと思います。子どもも、普段観ることのできない動植物をじっくり観ることができて、楽しそうでした。自生する植物を採取してキャンプなどで食べてみたいですね」と、自然への興味をますます深めた様子で話してくれました。



登山コース(午前の部)に参加された皆さん



ハイキングコース(午前の部)に参加された皆さん



登山コース(午後の部)に参加された皆さん(山頂にて)



ハイキングコース(午後の部)に参加された皆さん

〈担当者・神谷智専門職員から〉

雨の中の開催となりましたが、希少な植物や生物を見ることによって自然の大切さや素晴らしさに触れる良い機会になったと思います。また四季によっていろいろな生き物が見られますので、ぜひ山に足を運んで自然散策を楽しんでいただきたいと思います。

[文：ボランティアスタッフ まえかわあやこ(ライター)]

● 事業案内 ●

主催事業

名護岳トレッキング教室

- 趣 旨：トレッキングをととして自然の大切さを学ぶとともに、名護岳周辺の草花等を楽しむ
- 主 催：沖縄県立名護青少年の家
- 期 日：平成25年12月7日(土) 9:00 ～ 15:00
- 場 所：名護青少年の家及び名護岳(標高345m)
- 対 象：一般(小学生以上)
- 定 員：30名
- 参 加 料：350円
- 募集期間：平成25年11月19日(火)～12月5日(木)

※月曜日は休所日となります。

※定員に達し次第締め切ります。

- 持 ち 物：①サブザック(小型のリュックサック) ②弁当
③帽子 ④手袋(軍手) ⑤水筒 ⑥雨合羽
⑦タオル・着替え ⑧筆記用具



詳しくは名護青少年の家までお問い合わせ下さい。